

平成 23 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 川崎化成工業株式会社
 代表者名 取締役社長 山部 俊一
 (コード：4117、東証第 2 部)
 問合せ先 総務人事部長 大坪 孝幸
 (TEL. 044-246-7100)

平成 24 年 3 月期 業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、平成 23 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) の業績予想 (連結・個別) を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計期間) 連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

単位：百万円

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	10,050	70	100	100	2 円 58 銭
今回修正予想 (B)	8,950	△90	△60	△60	△1 円 54 銭
増 減 額 (B - A)	△1,100	△160	△160	△160	
増 減 率 (%)	△10.9	—	—	—	
(参考) 前期第 2 四半期連結実績	7,734	174	250	113	2 円 93 銭

2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

単位：百万円

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	18,800	280	330	330	8 円 52 銭
今回修正予想 (B)	17,900	10	60	60	1 円 54 銭
増 減 額 (B - A)	△900	△270	△270	△270	
増 減 率 (%)	△4.8	△96.4	△81.8	△81.8	
(参考) 前期連結実績	15,673	245	379	265	6 円 86 銭

3. 平成24年3月期第2四半期（累計期間）個別業績予想（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	10,000	100	100	2 円 58 銭
今 回 修 正 予 想 （ B ）	8,900	△60	△60	△1 円 54 銭
増 減 額 （ B － A ）	△1,100	△160	△160	
増 減 率 （ % ）	△11.0	—	—	
（参考）前期第2四半期実績	—	—	—	—

（注）平成23年3月期第2四半期において個別業績を開示しておりませんので、前期第2四半期実績を記載しておりません。

4. 平成24年3月期通期個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	18,700	330	330	8 円 52 銭
今 回 修 正 予 想 （ B ）	17,800	60	60	1 円 54 銭
増 減 額 （ B － A ）	△900	△270	△270	
増 減 率 （ % ）	△4.8	△81.8	△81.8	
（ 参 考 ） 前 期 実 績	15,590	373	262	6 円 78 銭

5. 業績予想修正の理由（連結・個別）

平成24年3月期第2四半期の当社グループの業績は、売上高の大部分を占める化学品事業において震災及び原発事故等の影響による需要不振が想定以上に長引いているため、平成23年5月18日に発表した期首の業績予想値に比べ減収、減益となる見込みであります。

具体的には、建設資材の原料となる無水フタル酸やマキシモール®は、各需要家が震災による減産分の挽回や復旧・復興需要を睨んだ増産等により第1四半期は好調に推移しましたが、第2四半期は予想していた復興需要が顕著に表れず、更には夏季電力調整の影響もあり需要が低迷したため減販、減産となりました。また、キノン系製品の一部についても震災等の影響により販売数量が減少いたしました。

損益面では減収による減益に加え、設備稼働率の低下による固定費負担の増加、キノン系の一部製品における原料価格の高騰の影響により期首の業績予想から大幅な減益となりました。

下半期につきましては、各需要家の生産も回復していくものと予想されるものの、マキシモール®は需要回復の遅れや原料高により期首の業績予想値に比べ減収、減益となる見込みであります。また、キノン系製品の一部についても、原発事故の影響等により下半期に予定していた販売の一部が来期にずれ込むことに加え、原料価格の高止まりも見込まれるため、期首の業績予想値に比べ減収、減益となる見込みであります。

以上の理由により第2四半期及び通期の業績予想（連結・個別）を修正いたします。

（※）上記予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上